

## 目標達成計画

作成日：平成 28 年 2 月 16 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	災害対策における訓練を実施する。備蓄の購入や災害時の緊急連絡網を作成する。緊急避難場所の確認、及び周知する。	災害時における安全な誘導の実施。また避難時の利用者様の安全の確保。	各職員が災害に向けての知識や危機感を持ち、迅速な行動が出来る様に、定期的な訓練を実施する(避難経路の確認)。また地域との交流を日頃から心がけ、災害時の協力を得る。	1ヶ月
2	3	家族からの評価や地域の評判が施設として大きな評価に繋がる。そのため家族との信頼関係を築いていくことに努めていく。	地域やボランティアの方々及びご家族と気楽にふれ合えるような施設を目指す。	地域や家族が施設に来られた際は、積極的に言葉を交わし、関わりを持っていく。そしてどんな事(苦情に相当する内容等)でもお話しして下さるような関係性を築いていく。	1ヶ月
3	2	各利用者様のご家族へ広報誌を作り、お渡しする。また環境美化にも努める。	定期的に広報誌をご家族へ郵送し、日々の生活状況等や利用者様のご様子をお伝えする。	H28年度から実施することにする。その際の担当制に関してはスタッフ間での意見等も聴き、全スタッフが責任を持ち関わって行けるようにする。	1ヶ月
4	6	来所して下さることが多いために、口頭でお伝えしている。(利用者様のご家族の殆どの方々が月に2回程度の面会がある。)	現状維持に努めていき、今後も積極的に聞き入れていきたい。	グループホームつきのき荘としての理念を基に取り組む姿勢を身に付けていく。	1ヶ月
5	1	グループホームとしての理念が作成されていない。現在多くの意見をもとに話し合いを設ける。	認知症であるご利用者様が心から安心して過ごせる環境であり、またご家族の信頼を得られるような施設でありたい。	介護職としての心得、また常に笑顔で接することで利用者様が幸せなお気持ちでいられるように努めて行く。	1ヶ月
6	15	現在、食事介助や身体的に援助を必要とされる利用者様が多く、現状では困難な状況である。	食事の際に同席し食事をする事は難しく、おやつと一緒に一緒におやつ作りを楽しむ時間を作る。	お一人おひとりの出来ることを見極め支援していく。	1か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。